

平成29年度関東倶楽部対抗埼玉第2会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 22倶楽部 ・ 176名)

期日：5月22日(月)

場所：熊谷ゴルフクラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	松本 秀樹	玉川	関口 哲明	オリムピック・レイクつぶらだ	高橋 徹	東松山	根津 正次	さいたま梨花
2	7:39	植田 耕作	森林公園	肥後 正章	児玉	菅井 雅之	嵐山	内田 裕	美里
3	7:48	吉川 正憲	熊谷	田島 幸久	秩父国際	矢島 美孝	川越グリーン	瀧田 敏明	高麗川
4	7:57	添田 雅之	小川	横田 恒雄	入間	根岸 淳	飯能くすの樹	岡田 忠彦	エーデルワイス
5	8:06	小林 勝美	武蔵	嶋 辰雄	石坂	宮本 清	高坂	大川戸 弘治	さいたま
6	8:15	我妻 文男	東京	三宅 勲	飯能パーク	増田 通夫	玉川	谷 猛夫	東松山
7	8:24	西野 伸幸	森林公園	辻 啓一	嵐山	宇田 明彦	熊谷	赤澤 義雄	川越グリーン
8	8:33	大熊 仁	高坂	金沢 浩	飯能くすの樹	池田 陽介	武蔵	海老沼 光三	小川
9	8:42	原瀬 博利	さいたま梨花	神保 淳	オリムピック・レイクつぶらだ	馬場 敬之輔	東京	谷藤 信男	児玉
10	8:51	佐藤 秀樹	美里	古田 雅二	秩父国際	本藤 功	高麗川	笠原 正光	入間
11	9:00	三上 修平	エーデルワイス	藤澤 徹	石坂	来住野 忠之	さいたま	島崎 勇	飯能パーク
12	9:09	村寫 隆義	玉川	遠藤 清司	さいたま梨花	高山 薫	嵐山	河内谷 清太郎	秩父国際
13	9:18	市川 清	小川	関 友己	エーデルワイス	大友 勝博	高坂	金子 光彰	飯能パーク
14	9:27	岩瀬 賢治	オリムピック・レイクつぶらだ	市川 清	森林公園	内野 隆芳	美里	庄司 文明	川越グリーン
15	9:36	小鷹 基衛	入間	小川 裕	武蔵	倉田 明彦	さいたま	鈴木 勉	東松山
16	9:45	落合 秀光	児玉	時田 芳人	熊谷	鈴木 敏藏	高麗川	田村 裕一	飯能くすの樹
17	9:54	三石 卓	石坂	阿部 哲	東京	仙庭 悟	玉川	松下 公哉	森林公園
18	10:03	江森 武久	熊谷	松岡 良治	小川	森 一郎	武蔵	渡辺 珍治	東京
19	10:12	金田 成雄	オリムピック・レイクつぶらだ	東館 修一	児玉	田島 俊信	秩父国際	芹澤 宏	入間
20	10:21	西村 邦夫	石坂	武藤 竹志	飯能パーク	中村 英次	東松山	池田 憲治	嵐山
21	10:30	瀬川 信	川越グリーン	鈴木 幹夫	飯能くすの樹	鈴木 明	高坂	小山 幸作	さいたま梨花
22	10:39	柴崎 昭好	美里	大賀 喜夫	高麗川	福田 聡	エーデルワイス	福島 清一	さいたま

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
23	7:35	松平 光徳	玉川	相川 富士夫	児玉	笹子 健一	川越グリーン	太田 秀樹	エーデルワイス
24	7:44	西田 龍一	東京	竹内 伸一	オリムピック・レイクつぶらだ	阿部 勝彦	嵐山	長谷川 悟	高麗川
25	7:53	久田 謙	武蔵	村木 徳親	飯能パーク	大久保 光彦	東松山	佐藤 力	美里
26	8:02	小林 一浩	小川	吉田 智雄	石坂	吉野 貴信	さいたま梨花	飯塚 隆	熊谷
27	8:11	野口 雄司	秩父国際	高橋 薫	高坂	小林 正志	森林公園	房野 利孝	入間
28	8:20	小島 好夫	飯能くすの樹	吉田 壮一郎	さいたま	刀禰 俊明	玉川	富永 進	嵐山
29	8:29	平井 裕晃	高坂	椎名 達也	小川	小林 昌信	オリムピック・レイクつぶらだ	原 一雄	美里
30	8:38	代 紀幸	さいたま	吉永 浩太郎	入間	小野 拓也	東松山	吉坂 一實	熊谷
31	8:47	奈良岡 敏之	飯能くすの樹	片山 英樹	東京	小野寺 博也	さいたま梨花	齊藤 賢司	秩父国際
32	8:56	黒滝 公彦	エーデルワイス	盛山 直樹	飯能パーク	白戸 翔	森林公園	奥 豊	川越グリーン
33	9:05	小林 徳弘	高麗川	木村 元一	児玉	大野 達朗	武蔵	上原 一憲	石坂
34	9:14	杉山 孝之	飯能パーク	高羽 琢二	美里	菅原 敬一	飯能くすの樹	清水 利彦	玉川
35	9:23	宮脇 裕之	オリムピック・レイクつぶらだ	清水 晃	熊谷	村山 浩伸	エーデルワイス	東 英樹	東松山
36	9:32	伊坂 宣二	秩父国際	日比生 賢一	武蔵	落合 滋	さいたま梨花	加藤 学	川越グリーン
37	9:41	嶋田 茂	石坂	渡邊 明稔	森林公園	牧野 龍一郎	高麗川	白石 亮二	高坂
38	9:50	加藤 友久	児玉	市川 智久	小川	根岸 久夫	さいたま	菊池 知己	嵐山
39	9:59	藤沼 拓人	入間	宮島 輝喜	東京	大森 功	玉川	小鮎 成忠	熊谷
40	10:08	倉片 優	武蔵	鈴木 豊人	オリムピック・レイクつぶらだ	嶋田 匡宏	秩父国際	照井 誠	石坂
41	10:17	上原 岳	東松山	岩崎 誠	川越グリーン	宝地戸 展幸	高坂	岩井 裕貴	さいたま梨花
42	10:26	森田 裕之	高麗川	服部 欣也	さいたま	住吉 正光	森林公園	山崎 雅之	小川
43	10:35	伊藤 博	飯能パーク	牧野 良一	児玉	諸星 直樹	入間	外川 栄治	東京
44	10:44	富永 学	嵐山	北島 靖司	飯能くすの樹	鶴之園 将基	美里	高瀬 基次	エーデルワイス

競技委員長 露木実

平成 29 年度 関東倶楽部対抗埼玉第 2 会場予選競技

開催日 : 5 月 22 日(月)

開催コース : 熊谷ゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)

ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。

パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

(a) 排水溝

(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)

(c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)

(d) 障害物によって囲まれた花壇

(e) 距離標示用のヤーデージマーク

5. コースと不可分の部分

(a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。

(b) 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。

(c) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。

6. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること

規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。

プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。

注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

7. 電磁誘導カート用の 2 本のレール

電磁誘導カート用の 2 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。

8. 防球ネット

コース内の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
AクラスYards	436	532	140	344	420	354	132	507	364	3229	
BクラスYards	436	532	167	385	442	354	154	507	393	3370	
Par	4	5	3	4	4	4	3	5	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	425	157	378	296	320	384	522	151	499	3132	6361
	425	172	378	296	320	414	522	167	512	3206	6576
	4	3	4	4	4	4	5	3	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 : 1 回の長いエアホーン

プレーの中断 : 連続する 3 回の短いエアホーン(繰り返し)

プレーの再開 : 2 回の短いエアホーン(繰り返し)

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとしてを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
5. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(240 球)を限度とする。
6. アプローチ・バンカー練習場は、自己の球を使用すること(1 人 3 個まで。)

競技委員長 露木実